

平成 28 年度 9 月補正予算（経済局関係部分）の概要

1 趣旨

横浜駅東口のポートサイド地区と中央卸売市場本場をつなぐ市場専用の高架道路である市場大橋については、これまで撤去工事を進めてきましたが、事業費の増額が必要となったことから補正を行います。



2 撤去工事の経過

平成 23 年 3 月の東日本大震災で市場大橋が損傷したため、対応を検討した結果、

- ・安全に使用するには損傷部分の修理に加え、大規模な耐震補強工事が必要となること
- ・平成 20 年に臨港幹線道路が開通し、市場への搬入・搬出経路が増えたこと
- ・以前よりポートサイド地区住民から橋の撤去要望が出ていたこと

等を勘案し、市場大橋の全面撤去を決定し、工事を進めてきました。

平成 23 年 9 月～平成 26 年 3 月 JR 貨物線上部撤去工事（JR 委託工事）
 平成 27 年 3 月 ポートサイド側の撤去工事の着手
 平成 27 年 12 月 市場側の撤去工事の着手
 平成 29 年 3 月 工事完了予定

3 補正の概要

地中に想定外の支障物が多数存在することが判明したことや騒音対策などにより、工法を変更したことで、事業費の増額が必要となったため、補正を行います。

(1) 予算額

（単位：千円）

一般会計	補正前の額	補正額	補正後の額
歳出			
17 款 諸支出金			
1 項 特別会計繰出金	573,835	149,600	723,435
4 目 中央卸売市場費会計繰出金			

中央卸売市場費会計	補正前の額	補正額	補正後の額
歳入			
3 款 繰入金			
1 項 一般会計繰入金	573,835	149,600	723,435
1 目 一般会計繰入金			
歳出			
1 款 中央卸売市場費			
2 項 施設整備費	3,273,941	149,600	3,423,541
1 目 施設整備費			

(2) 主な増額要因

ア ポートサイド側の工事

- ・橋桁や橋脚の地上部分の撤去が完了し、地下埋設物の撤去のために調査をした結果土丹塊やコンクリート塊といった想定外の支障物の存在が判明し、工法を変更
- ・地域住民から騒音を軽減するよう要望を受け、工法を変更
- ・ボーリング調査の結果、軟弱な地盤である事が判明し、工法を変更

イ 市場側の工事

- ・橋桁や橋脚のコンクリート部分の劣化の進行のため、安全性の確保から工法を変更
- ・関係機関と調整するなか、海中にある橋脚をより深い部分で切断する必要が生じたため、範囲及び工法を変更



地下埋設物の撤去工事



軟弱な地盤に対応した構台を使った橋桁撤去工事